

教育相談票 B

ふりがな	ふなおか はなこ	男・女	学校名	〇〇市立〇〇中学校
児童生徒氏名	船岡 花子		記入者 職名・氏名	教諭 田柴 一男
検査の記録	実施日	実施機関	諸検査名	検査の結果
	平成 29 年 5 月 30 日	発達相談支援センター	WISC-IV	FSIQ : 〇 VCI : 〇 PRI : 〇 WMI : 〇 PSI : 〇
	平成 30 年 6 月 20 日	本校	S-M 社会生活能力検査 第3版	社会生活年齢: 〇 社会生活指数: 〇 機動〇 数直立〇 作業〇 コミュニケーション〇 集団参加〇 自己制御〇
	年 月 日			
学習指導と学習能力	教育課程・指導の形態と内容	◇あてはまる番号に○をつけてください。 1 小・中学校に準ずる教育課程 ② 各教科等を合わせた指導を主とした教育課程 3 自立活動を主とした教育課程 4 その他[] ◇受けている教科や領域名、時数、指導場所（交流学級や個別など）を書いてください。 国語(4)、音楽(1)、美術(1)、保健体育(3)、技術・家庭(2)、道徳(1)、 選択(音楽)(1)、総合学習(1)・・・交流学級 数学(3)、英語(3)・・・個別 生活単元学習(7)、学級活動(1)、自立活動(3)・・・肢体不自由学級 ()内は週時数		
	国語的分野の力	◇中学校で学習した単元名等、どの程度できたか、その際の支援を具体的に書いてください。 説明文: 要旨をつかみ、接続語や指示語についても理解できる。 物語文: 物語に興味をもち、登場人物の気持ちの変化をつかむことは得意である。 古文 : 漢字仮名交じりの文を読むことは難しいため、授業では振り仮名を付けて音読させ、発表の場を設けている。 漢字の読み書き: 常用漢字をほぼ読むことができる。小学校1・2年程度の漢字を書くことができるが、線が一本足りないなどの間違いが多い。		
	数学的分野の力	◇生徒ができること・できないことや、その際の支援を具体的に書いてください。 数と計算・・・整数の理解・計算は、声掛けなどがなくとも、小5程度まで正確に行える。小数、分数については、小3程度までできるが、声掛けがないと間違いが多い。 量と測定・・・小5程度まで理解している。公式は定着していないので、教室に掲示してあるものを参考にしている。 図形・・・中1の作図は、手の震えのためできないが、作図方法については教師に的確に説明できる。中2の三角形の合同の証明まで理解している 数量関係・・・絵グラフは読み書きできるが、棒グラフは数量と長さが一致せず、教師が目盛りと数量を一緒に数えている。		
学習の様子と配慮事項	◇授業の時の様子、授業時に気を付けなければならないことなどありましたら、お書きください。 ・問題文を黙読しただけでは意味を理解できないため、教師が音読する。場合によっては、かみくだいて説明する必要がある。 ・自信がないときは、分かっているも黙り込んでしまう。			

(注) 学習指導要領を基に、生徒ができること、できないことを書いていただくと、参考になります。国語・数学ともに書ききれない場合は、適宜用紙を付け足してください。

記入例

性格・行動・対人関係	<ul style="list-style-type: none"> ・おとなしく真面目である。教師の指示に素直に従い、自分の役割を遂行することができる。 ・学級の中ではおとなしいが、気のあった数人の仲間とは活発に行動できる。 ・初対面の人ともすぐ打ち解ける。ただ、教師に対しては緊張し、赤面したり黙ったりする。 ・周囲と同じことをしたが、自分の能力以上のことをしようと無理をすることがある。
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

国語・数学以外の指導	国語・数学以外の教科や自立活動の学習の様子をお書きください。 自由に線で区切ってご記入ください。	
	指導している教科等	学習の様子
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地理分野は苦手意識をもっているが、歴史分野は好きである。特に歴史上の人物に興味をもっていて、その人物の立場になって考えることが好きである。 ・大きい地図は、捉えにくいので、タブレットを使って、手元で拡大して見ることができるように配慮した。
	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことは好きであり、大きな声を出す、音程は不正確である。創作では美しいメロディを作ることができる。また、リズム打ちが正確にできる。 ・片まひがあるため、リコーダーは、片手で演奏できるように編曲した。
	体育	<ul style="list-style-type: none"> ・集団での球技は、周囲の協力もあり楽しく行っている。ボールの動きを目で追いきれず、タイミングが合わないことは多い。持久走は、速度が遅いものの、一所懸命行っている。 ・交流学級で、授業に参加したが、種目によっては、見学することもあり、得点係として役割を果たすこともあった。
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のためうまく発音できないが、A L Tには積極的に話しかけ、身振りも使いながら意志の伝達ができるようになった。一方、文章の読み書きには苦手意識をもっている。
	自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ・手指の巧緻性を高めるためにパソコン等の I C T 機器の操作や手芸の活動に取り組み、手指の動かし方を身に付けるような活動を行った。 ・自分の考えや思いを周囲の人に伝える練習を行い、コミュニケーション力を高めるような活動に取り組んだ。